

目次

序 文

凡 例

序 編 岡谷市の自然的基礎と住民

第一章 地理的位置

第二章 地形と地質

第一節 地形区分

第二節 各地形区の特徴

第三節 地形発達史

第三章 河川と地下水

第一節 河 川

第二節 地 下 水

第四章 諏 訪 湖

第五章 岡谷の気候

第一節 気候要素

第二節 岡谷の四季と気候俚諺

第六章 岡谷市の住民

第一節 岡谷市の人口

第二節 集落地誌

第一編 原始・古代の岡谷

はじめに

第一章 岡谷の遺跡と遺物

第一節 天竜川沿岸部の遺跡

(1) 六地在家遺跡

(2) 追鶴沢遺跡

(3) 太ノ田遺跡

(4) 横畝遺跡

(5) 地替遺跡

(6) 高天原遺跡

(7) 中ノ沢遺跡

(8) 沢入遺跡

- (9) 原沢遺跡……………三
原沢遺跡とその出土土器／原沢遺跡の再調査／「原沢遺跡の研究」
- (10) 昌福寺裏遺跡……………三
- (11) 堂山遺跡……………三
- (12) 峯畑遺跡……………六
- (13) 毘沙門堂下遺跡……………六七
- (14) 後田原遺跡……………六
発掘調査にいたるまで／後田原遺跡の位置と集落の規模
後田原遺跡から出る土器／後田原式土器とはどんな土器か／後田原遺跡の住居址／小竪穴群の調査／後田原遺跡の石器／弥生時代住居址の発見／後田原遺跡を大切にしよう
- (15) 新倉長塚遺跡……………一〇九
- (16) 長塚遺跡……………一〇九
長塚遺跡の貴重な出土器／長塚遺跡の調査／第三号住居址の遺構と改築／埋甕とその性格／長塚第三号住居址の遺物——とくに凹石
- (17) 鮎沢大塚遺跡……………一一三
- (18) 松加保遺跡……………一一三
- (19) 上垣外遺跡……………一一三
- (20) 小洞日影遺跡……………一二四
- (21) マミノオ遺跡……………一二四
- (22) 妙王池遺跡……………一二四
- (23) 広畑遺跡……………一二五
広畑遺跡の調査／「井戸尻文化」と広畑遺跡
- (24) 西除入遺跡……………一二三
- (25) 鬼戸遺跡……………一二四
須恵器と埴輪／鬼戸窯址の環境と立地／鬼戸窯址と構造／鬼戸窯址の須恵器とその年代／埴輪とそのもつ問題／鬼戸窯址と古代史
- (26) 塚ノ山古墳……………一二四
- (27) 一ノ沢遺跡……………一二四
- (28) 岡屋遺跡……………一二五
岡屋遺跡の調査／岡屋遺跡の住居址と遺物／岡屋式土器／岡屋遺跡の特異性
- (29) 宮ノ上遺跡……………一二五
- (30) 熊野神社境内遺跡……………一二五
縄文時代後期中葉の土器／市内唯一の貝塚の存在
- (31) 荒神塚古墳……………一二六
古墳の位置と現状／荒神塚古墳の副葬品／荒神塚古墳の年代
- (32) 志平遺跡……………一二三
志平遺跡の調査／関西・東海系土器の流入

(33)	追平遺跡	一六
(34)	沖ノ沢遺跡	一六
	縄文時代中期初頭の高地性小遺跡／古代(平安時代)の 山地住民	
(35)	栃久保遺跡	一七
(36)	経塚遺跡	一七
(37)	洩矢遺跡	一七
(38)	橋原遺跡	一七
	第二節 諏訪湖西岸部の遺跡	
(39)	須ヶ平遺跡	一七
(40)	須ヶ平糠塚古墳	一七
(41)	城日向遺跡	一七
(42)	白浪神社古墳	一七
(43)	八重場沢遺跡	一七
(44)	霊湊山遺跡	一七
(45)	久保寺古墳	一七
(46)	大塚古墳	一八
(47)	小田井遺跡	一八
(48)	小手場沢遺跡	一八
(49)	満田沖遺跡	一八

目次

	湖底発見の石剣	一六
(50)	満田台遺跡	一八
(51)	神場木遺跡	一八
(52)	小坂糠塚古墳	一八
	小坂糠塚古墳の調査と報告／諏訪郡湊村糠塚発見の六畝 鏡／小坂糠塚古墳の年代／小坂糠塚古墳の性格	
(53)	日影古墳	一八
(54)	観音山古墳	一八
(55)	御頭屋敷遺跡	一八
(56)	矢垂遺跡	一九
(57)	小坂上垣外遺跡	一九
(58)	烏帽子古墳	一九
(59)	円道久保遺跡	一九
(60)	大林古墳	一九
	蔵手刀とその時代	
(61)	花上寺遺跡	一九
(62)	安沢遺跡	一九
(63)	平山遺跡	一九
	平山遺跡の発掘と住居址／平山遺跡の土器と石器	
(64)	新井北遺跡	一九
(65)	新井南遺跡	一九

- (66) 孤穴遺跡……………一九六
- 第三節 塩嶺山地とその周辺丘陵部の遺跡……………一九六
- (67) 種沢遺跡……………一九九
- 八幡一郎氏と押型文土器／種沢遺跡とその調査／種沢式土器の特徴／種沢式土器の研究上の役割／種沢遺跡の石器と生活
- (68) 種沢岩垂遺跡……………二〇四
- (69) 種沢清水遺跡……………二〇四
- (70) 種沢松田遺跡……………二〇四
- (71) 大久保遺跡……………二〇五
- (72) 若宮古墳……………二〇五
- (73) 横道遺跡……………二〇五
- 「かけら囃」／横道遺跡の立地／横道遺跡の弥生式土器と石器
- (74) 岡谷丸山遺跡……………二〇三
- 両角守一氏のこと／岡谷丸山遺跡とその調査記録
- (75) 海戸遺跡……………二〇六
- 海戸遺跡と岡谷丸山遺跡／海戸遺跡の調査の歴史／海戸・岡谷丸山遺跡の縄文式土器／海戸遺跡の弥生式土器／海戸遺跡の土師器と須恵器／海戸遺跡の集落構成とその変遷（縄文時代中期以外の時期の水辺集落・縄文時代中期の集落構成・住居址群と単位集団・縄文時代の海
- 戸集落と生産活動・弥生時代の集落と共同体・弥生時代の石器と生産・土師器の時代と海戸集落）
- (76) 清水権現遺跡……………二〇九
- (77) 杏林製薬工場内遺跡……………二〇九
- (78) 釜口遺跡……………二〇九
- (79) 下浜遺跡……………二〇九
- (80) 弁天島遺跡……………二〇九
- (81) 天王垣外遺跡……………二〇九
- 天王垣外遺跡と藤森栄一氏／天王垣外遺跡の弥生式土器と石器／天王垣外式土器／天王垣外遺跡における玉類の発見／天王垣外遺跡の玉類とその性格
- (82) 新屋敷長塚遺跡……………二〇六
- (83) 間下丸山遺跡……………二〇六
- (84) 小部沢遺跡……………二〇七
- (85) 月見ヶ丘遺跡……………二〇七
- (86) 滝ノ沢遺跡……………二〇七
- (87) 下り林遺跡……………二〇七
- 下り林遺跡の発見／「岡谷市下り林遺跡調査報告」
- (88) 中谷原頭遺跡……………二〇七
- (89) 立正閣上遺跡……………二〇七
- (90) ウツギ遺跡……………二〇八

(91) 化木遺跡……………三六

(92) 間下山の神遺跡……………三八

(93) 堤上遺跡……………三八

(94) 市営球場南遺跡……………三八

(95) 西林遺跡……………三八

(96) 神明町遺跡……………三九

縄文時代中期初頭の丘陵上の小遺跡群

(97) 間下堂山遺跡……………三三

(98) 大曲遺跡……………三三

(99) 今井十五社境内遺跡……………三三

(100) 柳海途遺跡……………三三

(101) 中島遺跡……………三三

(102) 深沢遺跡……………三三

(103) 膳棚遺跡……………三三

(104) 今井丸山古墳……………三三

(105) 唐松林古墳……………三三

(106) タワラコロビ古墳……………三四

(107) 長者蔵古墳……………三五

長者蔵古墳の調査／古墳の立地と墳形／古墳の内部構造

(石室)／石室の特徴と古墳の年代

(108) 大日向遺跡……………三六

(109) 上向遺跡……………三九

上向遺跡の位置／美しい縄文時代の玉類／豪華な縄文時代中期の土器／諏訪地方随一の石錘の出土／上向遺跡C地点の発掘

(110) 地獄沢遺跡……………三七

(111) 地獄沢古墳……………三七

(112) 今井山の神遺跡……………三六

第四節 長地山地と周辺丘陵部の遺跡……………三九

(113) 扇平遺跡……………三九

扇平遺跡の位置と環境／第一次調査の概略／第二次調査の概略／扇平遺跡調査の成果／扇平遺跡の調査を終わって

(114) 扇平古墳……………四五

(115) 長久保遺跡……………四六

貴重な縄文時代草創期の石器

(116) 山の神古墳……………四六

(117) 唐櫃石古墳……………四六

(118) 姥懐古墳……………四六

(119) 上の原遺跡……………五一

(120) 上屋敷遺跡……………五一

- (121) 丸山辻遺跡……………三三
- (122) 塚屋古墳……………三三
- (123) 梨久保遺跡……………三五
- 「信濃国諏訪郡神明原石器時代遺跡」／「常現寺沢」の採集／珍しい土製猪の発見／第一次発掘と梨久保式土器の設定／梨久保式土器の特徴と第二次調査／梨久保遺跡の第三／第六次調査／梨久保遺跡発見の二、三の注意すべき資料（先石器時代の槍先形尖頭器・多数の石鏃と石錘／灰釉陶器平瓶の逸品）
- (124) 火燈古墳……………三〇
- (125) 清水田遺跡……………三〇
- (126) コウモリ塚古墳……………三〇
- 湖北古墳群におけるコウモリ塚の位置／墳丘と内部構造／コウモリ塚古墳の副葬品／コウモリ塚古墳の年代と性格
- (127) 古塚古墳……………三三
- (128) 目切遺跡……………三四
- (129) 干草原遺跡……………三四
- (130) 常現寺長久保遺跡……………三五
- 第五節 横河川扇状地部の遺跡……………三六
- (131) 豊太郎垣外遺跡……………三七
- (132) 権現堂遺跡……………三七
- (133) 片間町遺跡……………三七
- 片間町遺跡の調査とその意義／片間町遺跡発掘調査概報／片間町集落の時代とその背景
- (134) 榎垣外遺跡……………三三
- 市内最大の集落遺跡／各時代にわたる多彩な出土遺物（先石器時代の槍先形尖頭器・各時代の土器・豊富な縄文弥生両時代の石器／貨泉の発見）
- (135) 金山東遺跡……………四一
- 「隆平・永宝を伴出せる蔵骨器」／金山東遺跡出土の須恵器と土師器
- (136) スクモ塚古墳……………四九
- 市民が守ったスクモ塚古墳／スクモ塚古墳の位置と墳形／スクモ塚古墳の石室と副葬品／スクモ塚古墳の特性とその年代／岡屋牧とスクモ塚古墳
- (137) 東町田中遺跡……………四五
- (138) 尼堂遺跡……………四六
- (139) 阿原神田遺跡……………四六
- (140) 清水池遺跡……………四六
- (141) 堀ノ内遺跡……………四七
- (142) 土器免遺跡……………四八
- (143) 紺屋垣外遺跡……………四八
- (144) 弥惣垣外遺跡……………四九

「諏訪郡平野村弥惣垣外発見中間性土器に就て」

(145) 庄ノ畑遺跡……………四二〇

庄ノ畑遺跡の調査と庄ノ畑式土器の理解ノ庄ノ畑式土器とはどんな土器か(縄文時代終末期の土器・庄ノ畑式土器の特徴・庄ノ畑式土器の編年の位置)ノ庄ノ畑遺跡の立地と生活

第二章 時代の流れと歴史の動き……………四二六

第一節 一万数千年前頃の岡谷……………四二七

先土器時代の登場

第二節 七・八千年前頃の岡谷……………四三七

種沢住民の活躍

第三節 四・五千年前頃の岡谷……………四三九

梨久保式土器を作った人々ノ海戸集落の繁栄

第四節 二千年前頃の岡谷……………四四三

弥生時代文化の波及と庄ノ畑住民ノ天王垣外遺跡の宝玉

第五節 千四・三百年前頃の岡谷……………四四四

スクモ塚古墳の主ノ古墳群と生産集団

第六節 一千年前頃の岡谷……………四四六

岡屋敷と古代史

第一編 古代の岡谷……………四四五

第一章 氏姓時代の諏訪……………四五七

第一節 神氏と岡谷……………四五七

第二節 金刺氏と岡谷……………四六〇

第三節 諏訪上下社……………四六三

第二章 律令時代の岡谷……………四六六

第一節 大化改新と大宝律令……………四六六

第二節 諏訪国と諏訪の郷……………四七〇

第三章 官牧岡谷牧……………四七三

第一節 諏訪の官牧……………四七三

第二節 岡谷牧の変遷……………四七六

第四章 古代の文化……………四八〇

第一節 古代の交通路……………四八四

第二節 古代の生業……………四八六

第三編 中世の岡谷……………四九一

第一章 鎌倉時代の諏訪……………四九三

第一節 諏訪の荘園化……………四九三

第二節 社家の武士化……………四九六

第三節 諏訪武士と源氏……………	五〇	第四編 近世の岡谷……………	七七
第二章 室町時代の岡谷……………	五〇	第一章 高島藩の政治……………	七九
第一節 宗良親王と岡谷……………	五〇	第一節 高島藩の成立……………	七九
第二節 諏訪神社と岡谷……………	五七	第二節 高島藩の機構と政治……………	五九五
第三節 小坂氏と岡谷……………	五四	第三節 宗門改……………	六〇三
第四節 上下社の争い……………	五六	第四節 高島藩の検地……………	六二五
第三章 武田氏時代の岡谷……………	五三	第二章 村の組織……………	六三三
第一節 諏訪氏の滅亡……………	五三	第一節 古村と新田……………	六三三
第二節 武田氏の政治……………	五五	第二節 村と村役人……………	六四〇
第三節 地頭と山城……………	五七	第三節 村定……………	六四七
第四節 武田氏時代の下筋武士……………	五八	第四章 治安の取締り……………	六五〇
第四章 織豊時代の諏訪……………	五七	第五節 小前層の台頭……………	六六
第一節 武田氏の滅亡と信長の諏訪経略……………	五七	第三章 農民の勤め……………	六六
第二節 本能寺の変と諏訪氏の再興……………	五九	第一節 貢租……………	六六
第三節 日根野の政治……………	五九	第二節 課役……………	六九〇
第五章 中世の文化……………	五九	第三節 伝馬と助郷……………	六九二
第一節 古文書に現われた神社……………	五九	第四章 農村と農民……………	七〇
第二節 古記録に見る寺院……………	五七	第一節 農民の階層……………	七〇
第三節 古代中世の文化財……………	五三	第二節 農民層の分解……………	七〇

第三節	耕地の拡張	七九	第二節	水	九二
第四節	農地の移動と土地集積	七九	第八章	凶作・災害とその対策	九八
第五節	小作関係の展開	七三	第一節	凶作・飢饉とその対策	九八
第六節	農業経営と技術	七二	第二節	諏訪湖の氾濫と水害対策	九六
第五章	余業の發展	七二	第九章	交通の發達	九七
第一節	出稼と奉公人	七二	第一節	五街道の設置と脇往還	九七
第二節	綿打・小倉織	七三	第二節	穀留番所	九八
第三節	江戸時代中期以前の蚕糸業	八〇	第三節	道橋の管理	九八
第四節	江戸時代後期の蚕糸業	八八	第四節	庶民の旅	九八
第五節	諸商売・諸職業	八三	第五節	交通余話	九八
第六節	中馬の展開	八五	第十章	江戸時代の文化	九八
第六章	諏訪湖の漁業	八三	第一節	文化の交流	九八
第一節	中世以前の漁撈・漁業	八三	第二節	寺子屋	九七
第二節	近世の漁業	八五	第三節	村の医師	九七
第三節	魚族の保護と増殖策	八七	第四節	天竜道人	九八
第四節	漁法と漁具	八九	第五節	建築・彫刻	九八
第五節	漁業税	八七	第六節	俳諧	九八
第六節	漁業の生産と市場	八三	第十一章	江戸時代の信仰	九八
第七章	入会・水利	八六	第一節	諏訪神社信仰	九八
第一節	入会	八六	第二節	民間信仰	一〇七

第十二章 江戸時代の生活……………1013

第一節 家……………1013

第二節 衣食住……………1031

第三節 若者仲間……………1036

第四節 娯楽……………1041

年表……………1045

索引……………1047

後記……………1053

第六編 時局と政治……………1053

第七編 文壇……………1053

第八編 文壇其人々……………1053

第九編 文壇の動向……………1053

第十編 文壇の発展……………1053

第十一編 文壇の衰退……………1053

第十二編 文壇の復興……………1053

第十三編 文壇の発展……………1053

第十四編 文壇の衰退……………1053

第十五編 文壇の復興……………1053

第十六編 文壇の発展……………1053

第十七編 文壇の衰退……………1053

第十八編 文壇の復興……………1053

第十九編 文壇の発展……………1053

第二十編 文壇の衰退……………1053

第二十一編 文壇の復興……………1053

第二十二編 文壇の発展……………1053

第二十三編 文壇の衰退……………1053